(様式第3号)

企業・団体名(シナノケンシ株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

							主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目											
カテ		取組	【非該当】	【予定】の		1	2	3 4	1 5	6	7 8	9	10	11 12	13	14 15	16	17
テゴリ	チェック項目	レベル	の場合 選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	1 00. Br##r#	2 :::	41:: -W-	5 act.***	A	**************************************	9 ::::::::	10 citir** <\$\hat{\pi}\$	11 :::::::::::::::::::::::::::::::::::	13 ::::::	16 total	16 THEE	17 magazi (A)
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本			当社のCSR方針やトップメッセージより人権などの国際的な規範を遵守することを謳い、社員研修や社員相談窓口などを設置し体制を構築している。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			就業規則にハラスメント禁止を明記している。管理者教育の実施、相談窓口を設置している。 職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済み。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8						16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間残業を是正すべく、ワークライフバランス委員会 という名の労使間協議を毎月行い、残業是正活動を 行っている。						8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			本社において、多国籍による採用活動を行い、国による差別なく同人事制度での運営を行っている。			4	.4		8.7 8.8		10.2 10.3					
⁵ 人	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			各職場代表からなる安全衛生委員会にて安全衛生に 努めている。毎年RST教育などの職長教育を実施し、 周知徹底している。			3			8							
· 分 6 働		基本			職場管理者を中心に毎年メンタルヘルス教育を実施。 社内外の相談窓口を設置し、社員相談に対応している。			3										
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			外国籍の取締役を起用しダイバーシティ経営を推進。 障がい者の法定雇用率を遵守している。 女性活躍推進法に基づき行動計画を実施している。				5.1 5.5		8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社内教育体系に則り、必要な教育を展開している。 (管理者教育、各種技術教育、キャリアデザイン教育 等)			4	1 5.5		8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			人事制度の役割等級基準により、評価処遇を行っている。パートタイム労働法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金などの原則に沿った対応を行う。				5.5		8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	基本			社員健康診断の所見率や診断結果項目をモニター。 信州ACEプロジェクト健康づくりチャレンジ大作戦グランプリ2018にて上田地域ウォーキング大賞2位。			3			8							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			環境法規制に準じ、適正な廃棄物管理を行っている。 IS014000を取得し、管理是正を行っている。									11.6 12.4		14.1		
12 環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			省エネ委員会を設置し、省エネ計画を策定し推進している。						7.3				13			
境 13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	チャレ ンジ		【予定】	月貫エイルヤー里をセニップし、温至効末ガス排山里を把握し、削減の計画を策定実施している。 【予定】2024年完成の新社屋より太陽光発電を活用し						7.2 7.3			12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			環境法規制部会を設置し、法令で規制されている有害 化学物質を把握し、使用規制をしている。			3.9		6.3				11.6 12.4				

カ				1	= 11 11 11 1-			-	主なSD	Gs (1	7ゴール	レと16	69ターゲット)		関連項	頁目		
カテゴ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2			6				11 12			16	17
ゴリ	, - , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	totta Antikat	2:::	:::::: 4 -\/\$•	M I	6 11115.	7 :::::::::::::::::::::::::::::::::::::	and &	10 tataan 	A 1400 CO	13:::::	15 ::: ***	16 FRANK	₩ ₩
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			紙コピー・プリントの削減、再生紙や植物性大豆油インキの活用、容器包装資材の削減などを通して、生態系への影響を極力抑えている。					6.6						15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			工場内において、廃棄物の分別作業、発泡スチロール の再生等を行っている。									12.5		14.1		
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	基本			工場内においては、自社水源の井水を利用し、かつ、 利用状況を把握し無駄のない利用を心掛けている。					6.4 6.6								
₁₈ 環境	【環境マネジメントシステム】 ・18014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	基本			S014000を取得している。(1998年7月取得)			3.9		6	7			12	13.3	14 15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	基本			HPにおいて環境目標を公開している。									12.6				
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレ ンジ		【予定】	【予定】2024年完成の新社屋より太陽光発電を活用し 更なるCo2削減に取り組む。						7.2				13			
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	基本			グローバル調達基本方針や行動基準をHPで公開し、 非合法材の使用等が無きよう取り組んでいる。									12.2	13	14 15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			贈収賄防止規程を整備し、社内浸透を図っている。												16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			公正な取引を行うべく、グローバル調達基本方針や行動基準をHPで公開。下請法に関する社内教育を実施している。												16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知財課という専門部隊を設け、特許、商法等知的財産 権の取得・管理を行っている。							8.2 8.3 9						
公正 25 事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報管理規程を定め体制を整備している。階層別教育 や新人教育を定期的に行い、情報管理ルールを周知徹底している。												16	
26 慣	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	基本			調達部門により自社製品の原材料サプライチェーンを グローバルに把握している。												16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	基本			IS09000でも購買管理・サプライヤー評価選定規程により、定期的にサプライヤー管理チェックを行っている。				5	i		8	10	12	13	14 15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			2024年5月より「パートナーシップ構築宣言」済み			3				8 9	10					17

				1				È	なSDO	Gs (1	7ゴール	169ع	ターク	デット)	関連	項目		
	チェック項目	日 「八八二 の場合 場合 (県などの取得認証			1				6				11 1:		14 15	16	17	
	7 - 7 7 7 1	レベル	選択入力	選択入力	(『非談当』を選択した場合はこちらに理由記載)			₩÷	©	<u>A</u>	7 8 HIII	9 ::::::::	10 ±25±± *	ALL CX	13:::::	15 11.	16 701112	7 €
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品開発におけるデザインレビューにおいて、安全性評価を行っている。法規制に準じた安全規制を行っている。		:	3.9						12	.4			
製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			品質保証体系を構築し運用している。							9						
31 ス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	基本			省電力・小型軽量モータの開発により、製品の消費電力削減や省資源化に取り組んでいる					6				1:	2 13	14 15	i	
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	基本			視覚障がい者向け読書機の開発を通じ、晴眼者と同 等な読書環境の実現を目指している	1	2	3 4	. 5	6	7 8	9	10	11 1	2 13	14 15	i 16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			社内に寄せられた近隣クレームなどは、環境情報管理 規程により管理是正している。			4				9		11 1:	2	14 15	i	17
地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	基本			地元サントミューゼ(地元文化会館)に対して毎年寄付を行っている。			4						11		14 15	i	17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	基本			社員食堂において、定期的に地産地消メニューイベントなどを行い、地産地消に努めている。						8	9		11 1	2 13			
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			目標、社員心得を明記した社員カードを配付し共有、 浸透を図っている。						8	9						17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			全社掲示板等で法令順守の重要性を全社員に向けて発信している。コンプライアンス研修を毎年実施している。												16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			CSR推進部門、担当役員を任命している。												16	
11.50	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利書関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			事業活動を推進していく中で、影響のあるステークホルダーとは適宜対話を行い、影響などを把握し対応を 行っている。												16	17
40 制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	基本			安全衛生委員会で安全衛生活動を見直しながら推進 継続している。2020年長野労働局長優良賞受賞												16	
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。	基本			自社のホームページにCSR方針を明記し、推進部門を置き取り組んでいる。												16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	基本			事業継続計画の策定を行い、定期的な訓練を実施している。							9		11	13 13.1		16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	基本			2021年スタートの人事制度においてキャリアパス制度 を整備し、次世代リーダーの人材をブールしていく。						8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9 1	0 1	1 1	2 1	13 1	14 15	16	17
【信州大学との包括連携協定】産学連携による人材育成	インターンシップを通じ社会のニーズや必要な技術を体 感しグローバルな視点を養う								8								17
【信州大学との包括連携協定】相互教育	互いの異なる特徴を授業やセミナーを通じて相互に教え あい、知識を高める				4												17
【信州大学との包括連携協定】共同研究	市場における課題を共有し、大学のシーズを活用したア プローチを提案する									9		1	2				17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録 が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 〇 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<mark>赤字</mark>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定